

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2025年12月15日発行号

VOL.50



私たちの岐南町、 これからの公共交通について考える

開催日: 2025年8月23日(土)、24日(日)、30日(土)

主催: 岐南町 × 岐阜大学



岐南町と岐阜大学の共同企画として、「私たちの岐南町、これからの公共交通について考える」をテーマにした「多世代参加型公共交通ワークショップ(ぎふフューチャーセンター)」が、8月23日(土)、24日(日)、30日(土)の3日間にわたり開催されました。

町民の皆さんに加え、高校生や大学生、教員など多世代が集まり、公共交通の現状を学びながら意見を交わしました。会場では、世代を超えた活発な話し合いが行われ、普段は接点の少ない若者と高齢者が互いの視点を共有する貴重な場となりました。

岐南町の現状

住民の生活を支えるためにコミュニティバスやコミュニティタクシーを運行しています。高齢化が進む中で公共交通の重要性はますます高まる一方、町外への通勤・通学者など多様なニーズへの対応も課題となっています。

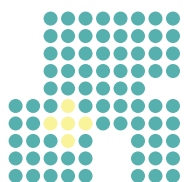


第1回

8月23日(土)

岐南町徳田町民センター

参加者23人(地域住民18人、教員5人)



地域連携推進本部
地域協学センター

TEL.058-293-3880

[E-Mail] ccsc@t.gifu-u.ac.jp [FAX] 058-293-3881

[URL] <https://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/>



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL.058-230-1111(代表)

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信



第2回

8月24日(日)

岐南町中央公民館

参加者18人(地域住民13人、学生5人)



第3回

8月30日(土)

岐南町やすらぎ苑

参加者23人(地域住民18人、学生2人、教員3人)



ワークショップでは、まずコミュニティバスやコミュニティタクシーの良い点や改善点について意見を交わし、続いて将来に向けて持続可能な公共交通のあり方を考えました。さらに、公共交通の視点から岐南町の未来ビジョンを描く取り組みも行われ、世代を超えた活発な意見交換が展開されました。会場では、若者から高齢者まで多様な立場の声が響き合い、普段は交わることの少ない世代間での交流が生まれました。こうした話し合いの中からは、世代や利用場面に応じてコミュニティバスとコミュニティタクシーの役割を柔軟に組み合わせる提案も出され、岐南町の公共交通の未来に向けた具体的なアイデアが形となりました。

今回のまとめ

未来ビジョン

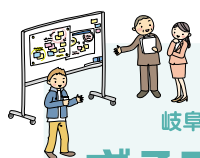
- 「世代とつなぐ 地域をつなぐ 思いやりのある岐南町」
- 「マイカーに頼らない町 岐南町」
- 「楽しく気軽に使える選択肢に!!」

世代間の視点が交わることで、より豊かなアイデアが生まれました。

担当者の感想

岐南町企画広報課 伏見 佳介さん

岐阜大学との共同企画により、岐阜大学の学生の方も参加したことで、若い世代の意見が出やすい雰囲気になりました。将来の持続的な公共交通を考える上で、幅広い世代からの貴重な意見をいただくことができました。



ぎふフューチャーセンターは
岐阜大学COC事業の取組みの一環です

ぎふフューチャーセンター



岐阜大学は、地域の課題を探りその解決策を考えるため、大学生、大学教職員、地域住民の対話の場である「フューチャーセンター(Future Center)」を定期的に開催しています。ぎふフューチャーセンターとは、岐阜大学COC事業の取組みの一環で、複雑化した地域の課題等について、多様な人々が集い「未来志向」、「未来の価値創造」といった視点から議論する対話の場のことです。